

人口と世帯 (外国人含む)	人口	424,144人
	男	209,270人
	女	214,874人
	(前月より)	147人増
	世帯	183,324世帯
(前月より)	135世帯増	
	(2010年7月1日現在)	

発行・町田市 編集・政策経営部広報広聴課広報係
〒194-8520 東京都町田市中町1-20-23
市役所の代表電話042・722・3111
町田市コールセンター ☎042・724・5656
☎042・724・5600
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



今号の紙面から

2面

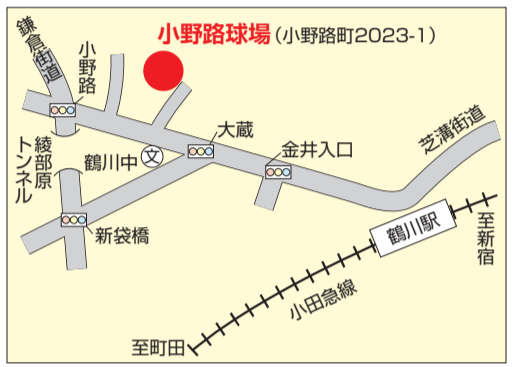
児童扶養手当が父子家庭の方にも支給されます

ご意見をお寄せ下さい
(仮称)町田市自治基本条例(素案)

4面

市が所有している宅地を一般競争入札で売却

小野路球場に観覧席



硬式野球にも対応した小野路公園の野球場では観覧席設置などの1期工事が7月末で完成しました。

今回の工事では、2階部分にあたる観覧席のほか、1階部分に記録室・審判控室などを整備しました。また、バックネットや防球ネットも設置しました。

10月から始まる2期工事では、観覧席へのエレベーター設置、防球ネットの延長等の工事を行い、来年3月に完成予定です。完成後は、2000人の観客収容が可能です。

1期工事の完成を受け、今年の9月には全日本軟式野球大会「天皇賜杯」が開催されます。また、2013年の東京国体では、軟式野球場として使用します。

関公園緑地課 ☎793・7630

市が管理する道路は約1200kmあり、今後は維持管理費用が増大することが予想されます。そのため、将来を見据えた計画的な管理を行うため、予算の縮減と平準化を目的とした管理計画の策定に2006年度から取り組んできました。これまでに道路資産管理基本計画、幹線・準幹線道路舗装管理計画(約140km)、橋梁管理計画(239橋)を策定してきました。

今回は、幅4m以上の市道を計画的に補修する「生活道路舗装管理計画」を策定しま

した。計画の策定にあたり、生活道路(約560km)について、撮影と目視調査を行い、舗装状況の調査を行った後、市内全域の舗装評価マップを作成しました。

計画
調査結果を基に、適切な補修を行うための予算を検討し、工事費用予算が年度によって大きく増減しないよう平準化を図った中長期計画を策定しました。

効果

計画の策定によって、補修費用の集中投資が必要となる一定の時期について、平準化することができ、安定した予算執行が行えます。また、調査結果に基づいた補修工事を行うことにより、優先順位が明確になり、今後は占用企業(電気、ガス、水道等)による工事が予定されている路線については、占用企業と協力して工事を行う仕組みを確立し、工事費用の縮減と工期期間の短縮を図っていきます。

計画書は建設総務課(市役所中町第二庁舎)で閲覧できます。また町田市ホームページでもご覧いただけます。

建設総務課 ☎724・1124

町田市民文学館では、昨年開催した展覧会「森村誠一展―拡大する文学―」をきっかけに、森村氏から自宅に保管されていた文学資料236点の寄贈を受け、その一部を展示・公開しています。森村氏は寄贈にあたり「多くの方々に森村文学に触れる機会を」と話されていました。

今回は「人間の証明」の自筆原稿や執筆ノートなどを展示しました。今後は展示資料を順次入れ替えながら、皆さんにご覧いただく予定です。

町田市民文学館 ☎739・3420

町田市民文学館では、昨年開催した展覧会「森村誠一展―拡大する文学―」をきっかけに、森村氏から自宅に保管されていた文学資料236点の寄贈を受け、その一部を展示・公開しています。森村氏は寄贈にあたり「多くの方々に森村文学に触れる機会を」と話されていました。

今回は「人間の証明」の自筆原稿や執筆ノートなどを展示しました。今後は展示資料を順次入れ替えながら、皆さんにご覧いただく予定です。

町田市民文学館 ☎739・3420

市と教育に関する連携協定を結んでいる、桜美林大学と玉川大学の協力で、教職員等を対象とした授業力・教育課題研修会を開催しています。

研修期間は6日間、全49講座を開講します。

受講対象者は、町田市立小学校の校長・副校長・教諭、町田市学校支援ボランティアコーディネーター、桜美林大学及び玉川大学の教員志望の学生です。

指導課 ☎724・2867

市内の「ものづくり産業」を支援・育成するため、産業見本市に出展する中小企業者に対する出展料の一部、及び特許・実用新案を取得しようとする中小企業者に対する出願費用等を補助する制度が始まりました。市内に1年以上住所と事業所があり、市内で1年以上事業を行い、市税を完納している中小企業者の皆さんが対象です。

補助の概要は次のとおりです。

産業見本市出展事業補助
○対象見本市 国、地方公共

市役所、特別支援教育等、現在求められている教育課題への対応力を高めるための講座も開設しています。

研修期間は6日間、全49講座を開講します。

受講対象者は、町田市立小学校の校長・副校長・教諭、町田市学校支援ボランティアコーディネーター、桜美林大学及び玉川大学の教員志望の学生です。

指導課 ☎724・2867

市内の「ものづくり産業」を支援・育成するため、産業見本市に出展する中小企業者に対する出展料の一部、及び特許・実用新案を取得しようとする中小企業者に対する出願費用等を補助する制度が始まりました。市内に1年以上住所と事業所があり、市内で1年以上事業を行い、市税を完納している中小企業者の皆さんが対象です。

補助の概要は次のとおりです。

産業見本市出展事業補助
○対象見本市 国、地方公共

詳細は産業観光課(☎724・2129)へお問い合わせ下さい。

詳細は産業観光課(☎724・2129)へお問い合わせ下さい。

市民文学館

森村誠一氏寄贈の文学資料を三二展示

町田市民文学館では、昨年開催した展覧会「森村誠一展―拡大する文学―」をきっかけに、森村氏から自宅に保管されていた文学資料236点の寄贈を受け、その一部を展示・公開しています。森村氏は寄贈にあたり「多くの方々に森村文学に触れる機会を」と話されていました。

今回は「人間の証明」の自筆原稿や執筆ノートなどを展示しました。今後は展示資料を順次入れ替えながら、皆さんにご覧いただく予定です。

町田市民文学館 ☎739・3420

「ものづくり産業」を応援します

産業見本市出展 特許権等取得 に対する 補助制度 スタート

市内の「ものづくり産業」を支援・育成するため、産業見本市に出展する中小企業者に対する出展料の一部、及び特許・実用新案を取得しようとする中小企業者に対する出願費用等を補助する制度が始まりました。市内に1年以上住所と事業所があり、市内で1年以上事業を行い、市税を完納している中小企業者の皆さんが対象です。

補助の概要は次のとおりです。

産業見本市出展事業補助
○対象見本市 国、地方公共

教職員を対象に 大学と連携した授業力・教育課題 研修会を開催

市と教育に関する連携協定を結んでいる、桜美林大学と玉川大学の協力で、教職員等を対象とした授業力・教育課題研修会を開催しています。

研修期間は6日間、全49講座を開講します。

受講対象者は、町田市立小学校の校長・副校長・教諭、町田市学校支援ボランティアコーディネーター、桜美林大学及び玉川大学の教員志望の学生です。

指導課 ☎724・2867

市内の「ものづくり産業」を支援・育成するため、産業見本市に出展する中小企業者に対する出展料の一部、及び特許・実用新案を取得しようとする中小企業者に対する出願費用等を補助する制度が始まりました。市内に1年以上住所と事業所があり、市内で1年以上事業を行い、市税を完納している中小企業者の皆さんが対象です。

補助の概要は次のとおりです。

産業見本市出展事業補助
○対象見本市 国、地方公共

詳細は産業観光課(☎724・2129)へお問い合わせ下さい。